

～「学研木津北地区」というのは鹿背山の里山のこと 里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

【新たな試み】

鹿背山の南谷を活動フィールドとする鹿背山元気プロジェクトと城山台小学校や地域住民が一緒になって活動する、「ふるさとつくろう」城山台里山プロジェクトが立ち上がります。

城山台小学校や街を自分たちの手で緑豊かにして、里山の野鳥や虫たちとともに暮らすようになれば、愛着のある「ふるさと」となることでしょう。

そんな思いから「里山と循環する街」のイメージを語り合うシンポジウムが開催されます。

詳しくは、次のとおりですので、ぜひ参加してください。

時 12月11日(日) 午前9時30分～正午(開場 午前9時～)

所 城山台小学校「体育館」

講 森本 幸裕 先生(京都学園大学教授)

対 高校生以上

他 託児スペースは、3歳以上のお子さん定員15人

問・申 kanosato2013@gmail.com

主 鹿背山元気プロジェクト

後 木津川市・木津川市教育委員会



【さとやま活動へのお誘い】

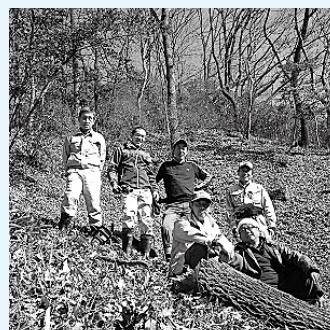
つい数十年前まで農山村の住民は里山を利用しながら薪を使って生活していました。しかし、人手が入らなくなった里山の木々は30年、40年と時を経て、日々手つかずの森に向かって変容しています。

そこで、もう一度里山を利用し、生活の中に里山との接点を取り戻し、里山本来の姿、人間の生活に役立つ活用をすることで維持管理します。

里山の利用方法の一つは、薪や炭の原木を育てる薪炭林です。現在、鹿背山で活動するキノコもクラブは、放置された里山から薪原木を伐採し、切り株からの萌芽更新や広葉樹の苗を植栽することなどで、里山を再び生活に役立てていく活動をしています。

しかしながら、伐採した木の使途がないと萌芽更新の範囲を広げることができません。そこで、シイタケ栽培や薪ストーブの薪の調達など、伐採木を活用したい方を募っています。

自分の手で木を倒し、枝を払い、玉切りして、斧で割って、薪にして運び出す。こんな一連の作業を体験しつつ、里山の恵みを享受しようではありませんか。



【里山へGO！（里山活動に参加してみよう）】

鹿背山で活動する団体の里山活動を体験してみたい方や、参加してみようと思われた方は、気軽に問合せてください。

木津北地区保全推進室（都市計画課内）☎ 75-1222 kizukita@city.kizugawa.lg.jp